2007.10.22.

宮城県重症児を守る会主催・「第８回地域交流懇談会　in　仙台都市（南）圏域」

講話「地域において　重症心身障害児（者）の親として出来ること」の
アンケート（感想）内容

・阿部先生の講話には、大変同じ思いで聴いていました。
本音の思いをズバッといっていただける講話をまた聴きたいです。

・親の受身の体質を変えさせる話でした。若い母親達にきかせたいです。

・地域の人々に知ってもらうことが大事というのはあると思います。
側で一番かかわりのある所を居心地のいい物・場所にしてあげなくてはと思いました。

・ある程度は勇気を持つようにというのは本とにすごく大切な事と共感しています。
親が勇気を１００％は難しいとは思いますが、０％では子どもはなぜこの世に生まれら事の意味がないと感じてしまうとおもいますから。

・地域に知ってもらう。発信し続けることの大切さ。よくわかりました。発信します。

・勉強になり、励ましてもらいました。先生ありがとうございました。

・阿部先生の話も心を打たれるお話でした。
また、機会があれば是非お話を聞きたいと思いました。

・基本的な内容であったかもしれませんが、これまでの経験に裏打ちされた濃く重厚な内容でした。
今の私に必要な内容でもあり、とても勉強になりました。

・地域の中に一人としてわが子とともに地域の人に知ってもらうよう努力していきたいと

おもっています。

・当たり前のこととして捕らえられることが日々の中ではおろそかになっていることに気づかされた。
身近な関係機関を動かすことの大切さを感じた。

・阿部先生の理念がシンプルでわかりやすく、障害の有無にかかわらず人間として必要なことと感じた。

・もっと勉強が足りないようです。

・支援者として何ができるか、大きなことではなく身近に寄り添えるよう努力していきたいと思います。

・本音で聞けたような感じで良かった。

・大変良いお話でした。（３人）

・共感出来るお話を伺えた。

・協力したいです。

・知ってもらう努力　積極的にしていたろうかと考えさせられました。
守るだけの親だったかも知れないと反省させられた。

・親としては地域の中で沢山の人に支えられて子どもが育っているなと思っていましたが，阿部先生のお話を聞いて，まだまだのところがいっぱいあったように思う。

・元気な阿部先生のお話を聞けて良かったです。

・障害者が置かれている立場が地域によって差がある事に驚かされた。

・わかりやすく，地域の力の大切さを再確認しました。専門職のあり方も考えることが出来ました。

・親の役割・親の考え方について理解でき，地域に知ってもらうこと，子どものために地域に理解してもらう努力。

・具体的で大変わかりやすい講話でした。事例案がありよかった。
本音で語り合う事が大事と大変勉強になりました。

・障害児の親として，地域を育てる事が大事というお話で，勇気を持って一歩踏む出すことが必要なんだと思いました。
しかし，あまり親が頑張らなくてもよいように，行政が支援していくことも大事だと思いました。

・確かにプロの言葉は親にとって心に重く響くということ。

・親の気持ちをくみ取ってくれるということが一番嬉しい。

・阿部先生のお話を又聞きたい。涙がでました。

・親の会として出来ること。共に生きること。一人で出来ないことも親の声としてまとまれば行政を動かす力になれる。
親としての心構えを教えていただきました。

・相手が自分を理解者として認める関係を築くこと，自分も心がけます。
信頼をうけることは時間がかかりますが，勉強にもなります。

・地域で生きる人に知ってもらうことの大切さを学べた。

・突然のメールで大変失礼と思いつつも、本日、先生のお話を聴きたくさんのパワーをもらったこと、これからの励みになったことへのお礼をしたいとパソコンに向っております。

先生のお話の中にあった【Not doing, But being. ～余計なことはするな！そばに居続けてあげなさい！～】を念頭に置き、日々の業務に努めたいと思います。

文章がまとまらないままキーボードを打ってしまい、何が言いたいのかまとまらなくなってしまいましたが、、、
今後も先生のホームページへ度々お邪魔させていただきたいと思います。
大変ためになるお話しを本当にありがとうございました。